

平成 27 年度 広島県立歴史民俗資料館企画展示報告

- 期 間：平成 28 年 2 月 19 日～12 月 18 日
- 会 場：広島県立歴史民俗資料館（風土記の丘ミュージアム）
- テーマ：「県立広島大学の文化財—毛利氏・宮島・地域のたから—」



大学は教育・研究の一環として、さまざまな古文書や絵画資料などの文化財を所蔵しています。日頃、学外の方たちの目に触れることの少ないこれらの文化財の中から 70 点を選び、広島県立歴史民俗資料館で展示しました。

第 1 章「毛利氏の古文書」では元就、隆元、元春、輝元の書状など、第 2 章「宮島の記憶」では宮島の絵図や写真帳など、第 3 章「地域のたから古典籍」では当時の世相や人々の教養の高さを伝える古典籍などを展示しました。展示期間中、延べ 1,853 名の方が来場されました。



この企画展示の準備にあたっては、学芸員養成課程で学ぶ国際文化学科の 2～4 年生が参加し、広島県立歴史民俗資料館の学芸員による事前の資料調査、資料の調書作成や、美術品輸送専門家



による梱包・開梱作業、展示作業の様子を見学しました。また、展示室の前に設けられた県立広島大学の紹介コーナーと、展示室入口の看板は、同課程で学ぶ学生 11 名が展示作業をおこないました。



展示の関連事業として 2 月 20 日、3 月 5 日、3 月 19 日には記念講演会「元就・隆元・輝元—毛利家三大の古文書」（講師：秋山伸隆 宮島学センター長）、「先人の声が聞こえる—地域文化資料を読むたのしみ」（講師：西本寮子 人間文化学部教授）、「近世・近代の宮島—春の景色を中心に—」（講師：大知徳子 宮島学センター助教）で講演をおこないました。

